

お客様のニーズを技術力で商品化 三愛物産株式会社（名古屋市中区）

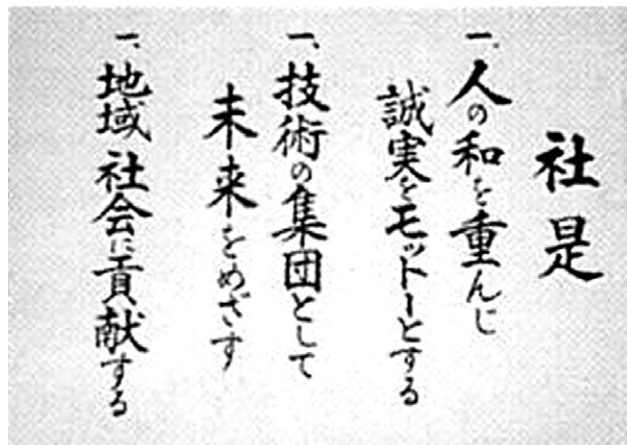
今回は「三愛物産株式会社（名古屋市中区丸の内3-17-10、平井 哲社長）」の本社取材した。同社は、ホテル・病院・公共施設等に設置される非常用ディーゼル発電設備や非常用ガスタービン発電設備、常用コージェネレーションシステムのほか、浄水場施設、揚排水施設等に設置されるポンプ設備の中小規模～大規模プラントの開発・販売から据付工事、メンテナンスまで一貫して自社で手掛けている。また、業界に先駆けて、通信回線を活用する遠隔集中監視装置「3P-N」と「3P-H」を独自開発し、各種施設に納入した発電設備やポンプ設備等を社内から一括して運営管理を行っている。高度なエンジニアリング技術を駆使して、地域社会の環境づくりに貢献する三愛物産における取り組みを紹介する。

創業の経緯

三愛物産株式会社の設立は昭和23年7月24日。会社設立から今年で62年目を迎えた。創業者は現社長の実父である平井 蓮太郎氏。蓮太郎氏は年間降水量が日本一といわれる港町・三重県尾鷲市の出身で、戦後、故郷で三菱重工業との間で船用エンジンの特約店契約を結び、漁船に搭載される小型ディーゼルエンジン等の船用部門の製品販売とメンテナンス事業をスタートした。昭和23年7月の会社設立と併せて、名古屋市中村区志摩町にも駐在事務所を開設した。創業当初は中部地区の漁業関係者を対象に、三菱重工業製の船用小型ディーゼルエンジンの販売とサービス業務を中心に手掛けていた。

次いで昭和28年3月、三愛物産は株式会社荏原製作所との間で代理店契約を結んだ。これが転機となり、従来の船用ディーゼルエンジンの販売に加え、新たに水処理施設に整備されるポンプ設備等の開発・販売、据付工事、メンテナンス事業へも本格進出を果たした。地方自治体が建設し維持管理する同施設内のポンプ設備用の動力源として、陸用ディーゼルエンジンやガスタービンを納入していった。

また、昭和31年1月、三菱重工業との間で陸用エンジンの特約店契約を結び、取り扱い製品のラインアップの充実化を図り、陸用エンジンの受注拡大を実現していった。事業の発展に伴い、昭和33年5月、三愛物産は本社を創業地・三重県尾鷲市から名古屋市中



三愛物産株式会社の社是



代表取締役社長 平井 哲氏

の内へと移転させ、続いて昭和48年7月、本社ビルを現在地に完成させた。

昭和60年2月、三愛物産は川崎重工業株式会社とガスタービンの代理店契約を締結。翌昭和61年11月、創業時から注力してきた船用部門のエンジン販売事業を同社から分離した。それ以降は陸用部門のみに特化して事業を展開している。現在では、非常用ガスタービン発電設備や非常用ディーゼル発電設備、ポンプ駆動用動力装置、排水処理装置といった各種ポンプ設備・水処理設備・廃棄物処理設備等のシステム開発や販売、設置工事、メンテナンス業務を行っている。さらにコンピューター技術を駆使して納入設備の一括管理を行う遠隔監視用制御システム、浄水場等で設置される電気計装機器や重電機器、設置工事に使用される建設機械の販売も手掛け、一貫して自社で施工・納入を行っている。現在の資本金5,000万円、従業員数82名となっている。

商品の納入実績について

自家発電設備に関しては、三愛物産はナゴヤドーム球場に三菱SI6R-PTK型2,000kVA非常用ディーゼル発電設備を納入した実績を持つ。また、今年2月に新機種「PG500 (500kVAクラス)」を市場投入した三菱重工業・三菱電機の非常用・防災用ディーゼル発電設備「三菱パッケージ発電機PGシリーズ (20～500kVA)」について、中部地区を中心に積極的な売り込みを図っている。なお、新機種PG500は、現行の黄銅ラジエータに替え、新たに耐塩害腐食性に優れた自動車用アルミラジエータを転用して、同クラスの他社製品と比べ、大幅なパッケージの小型化を実現した点が特長とされる。商品競争力があることから、今後の販売拡大が期待されている。

ガスタービンについては、同社は名古屋・熱田下水処理場に川崎重工業の「非常用ガスタービン発電設備PUシリーズ (150～6,000kVA)」を納入した。PUシリーズの特長は、従来製品と比べ、小型軽量で省スペース化を図ったため、据付工事が容易であり施工性や経済性に優れている点。また、川崎重工業の「ポンプ駆動用ガスタービンMDシリーズ (272～4,568kVA)」は、冷却水不要、低騒音、低振動、優れた始動信頼性の4項目が高い評価を受け、ポンプ設備の信頼性向上を図れる動力源として引き合いが多く納入実績を重ねているという。

ポンプに関しては、愛知県名古屋市・熱田にある下水処理施設や、三重県津市や四日市市、岐阜県大垣市など地方自治体の浄水場、排水機場及び高揚程ポンプ場向けに中小規模～大規模なポンプ設備を納入した豊富な実績を持っている。その他環境機器に

関しては、発電設備の据付工事やマンホールポンプ設備の保守点検業務に従事してきた長年の経験を活かし、非常用発電機用防振装置や、ポンプ交換やバルブ操作が容易なマンホールポンプを商品化してきた。

注力していく商品

今年10月に奄美大島を襲った集中豪雨による被害は、日頃から災害発生時を想定してライフライン確保に備える事の重要性を再認識させられた。三愛物産では、ポンプ場・浄水場施設や農業用水施設等を通信回線を使って365日、24時間アクセスし遠隔監視できる装置「スーパー 3PW システム」を開発し、三重県内の自治体を中心に多数の納入実績を持つ。

また、昼間は太陽光発電、夜間はバッテリーでそれぞれ作動し、地震発生と同時にLED照明と、スピーカーやラジオからの音声で住民の避難誘導を行う「あんしんボール」、震度6弱の地震が発生した場合、鍵を自動解錠する防災機器保管庫「地震自動オープン錠」の3点の自社オリジナル商品について、今後一層の普及促進に向け全国各地の自治体等に営業活動を強力に展開していく。



遠方集中監視装置「スーパー 3PW システム」



防災機器保管庫「地震自動オープン錠」



避難誘導装置「あんしんボール」